

田中氏の居館

「高島七頭」の田中氏

田中氏は、鎌倉時代から室町時代にかけて高島郡を支配した在地領主の総称である「高島七頭」のうちの一領主です。現在の安曇川町田中・五番領周辺とされる「田中郷」を領地として支配していました。

田中氏の居館

高島七頭が台頭したところ、田中氏は田中郷の中心地であった下ノ城集落に居館を構えたと考えられています。田中氏が領有した田中郷は、現在の大字田中にあたる場所とされており、近世においては南市村・三田村・馬場村・下ノ城村・上寺

村・仁和寺村・鍛冶屋村・産所村・沖田村・佐賀村を総称して「田中十ヶ村」と呼ばれていた地域に該当します。

下ノ城集落周辺は現在、水田地帯が広がっており、田中氏の居館が存在した痕跡は、地表には見受けられませんが、周囲の小字名がその存在をうかがわせています。現在の下ノ城集落から、その南方に横断している県道安曇川・高島線までの水田が「南堀」、その反対方向にあたる集落の北方の水田が「北堀」、集落の東方の水田が「東堀」という小字名がついており、この範囲に田中氏の居館が存在していたと考えられています。西堀という字名はありませんが、江戸後期の田中村絵図には「西ノ口」という地名が残されており、その地域の中に田中氏の居館の正面入り口が存在したことがうかがえます。また、「堀」という地名がそれぞれ付くことから、周囲に堀を巡らす居館であったと考えられます。

い位置にあり、集落の北辺が東西にまっすぐ区画されていることが分かっています。この北辺に接する水田は幅約7mで東西に延びており、この水田が田中氏の居館の北堀跡であると考えられます。

図文化財課 (25) 8559



現在確認されている遺構

これまでの現地調査から、下ノ城集落は周辺の水田よりやや高

編集
雑感

今月号の表紙は、市のYouTubeチャンネルを制作している職員スタッフたちです。職員採用試験向けのチャンネルですが、市の魅力なども工夫を凝らして、楽しく配信していますので、ぜひ一度ご覧いただきたいと思います。

また、公式Instagramでは、少しでも皆さんの気持ちが和らぎますようにと、市内の素敵な風景をほぼ毎日配信しています。こちらも併せて、おうちでの楽しみ方の一つとして取り入れていただければ幸いです。(Y.O)



広報たかしま

令和2年

5

月号

No.244

発行▼高島市 編集▼政策部企画広報課
〒522-0156 滋賀県高島市新旭町北畑5-5番地☎0740(25) 8000(代)
http://www.city.takashima.lg.jp
t:info@city.takashima.lg.jp